

SDGs Quest みらい甲子園

北海道エリア大会

コープさっぽろ賞

ペットボトルの
捨てる方から考える
エシカル消費な
未来へのアイデア



「第1回SDGs Quest みらい甲子園」の表彰式が2020年8月1日に行われました。コープさっぽろ賞は北海道石狩翔陽高等学校のボランティア局チーム美咲「校内でのエシカルなペットボトルの捨て方について」が受賞。SDGs目標12に掲げるエシカル消費を意識する消費者を増やすため、校内のペットボトルの分別調査から始め、石狩市のペットボトルの回収方法までフィールド調査を実施。その報告から全校生徒に捨てる方を提案し、持続可能な地球環境を目指す、というアクションでした。消費者マインドを変える着想を身近なペットボトルの捨て方で提案、という視点が評価されました。

チーム代表木村美咲さんは「課題に対し、局員と話し合う度にテーマが深まるのが楽しかった。他校の発表も素晴らしく、その中で受賞でき

たのはとても驚きです。関西チームとのワークショップでゴミ箱アートというのを知り、これからの活動にいかしていけたら」とコメント。次世代へのバトンをしっかり渡しました。



写真上段左から中村絢風(1年)、太田夏南海(2年)、
ながさわ あきほ たかせき ゆづき たきあおい
長澤明穂(2年)、高関優月(2年)、下段左から滝葵(1
きむら みさき なかつか さき つごし れいや
年)、木村美咲(3年)、中塚咲希(3年)、津越玲哉(3年)

「SDGs Quest みらい甲子園」とは?

気候変動、エネルギー、生物多様性、ジェンダー、水等、地球や人間社会にある様々な問題について高校1・2年生が「SDGsアクション」アイデアとしてその解決策を発表するコンテストです。今回は北海道エリア、関西エリアで開催。北海道は70チームの中から最優秀賞に北海道名寄産業高等学校が選ばれました。



校内のペットボトル分別の状況を調査。分別されているのは3割以下でした



調査後にボランティア局が作成したポスター